

2017年12月1日

学生相談室主催 「描画を体験しよう」 レポート

日時：2017年11月27日（月） 13:00～14:30

担当：伊藤亜綾カウンセラー

場所：2号館1階 学修支援センター 学習室1

参加者：学生 3名（人間発達3年 1名、健康栄養4年 2名）、伊藤律子カウンセラー



学生相談室の伊藤亜綾カウンセラーのご指導の下、描画法のひとつ「交互スクリブル物語統合法」を実践しました。ことばは自ら意識して使いますが、絵には無意識が表れる、ということで、今回は自分の容量を知ることもねらいのひとつとなっています。

「交互スクリブル物語統合法」は、2人一組でクライアント役とセラピスト役に別れ、6コマに区切った枠の中に交互に線をひとつふでがきし、そこに色をつけていく、というものです。サインペン、クレヨン、色えんぴつ、クーピーを使って色をつけていきます。

絵が出来上がったらその絵の物語を共同でまとめてもらいます。無意識（絵）を意識（ことば）に近づけるというわけです。ひとつふでがきした線が何かに見えるまで画用紙ごとグルグルまわしてみたり、何もなくともとりあえず色を塗り始めてからそれなりになってきたり、「むずかしいなー」「なるほどー」などの声かとびかいました。意外さで笑いが出たり、時には真剣に色をぬったりして、1回目は50分ほどで絵と物語が完成しました。一組ずつ物語を発表した後、2回目はクライアント役とセラピスト役を交換しました。

相手の感性を知れた、違う面を見ることができた、絵だからこそ自分を出せる幅が広がった、といった感想をいただきました。今日体験したことが、自分のよさをも発見することにつながりは幸いです。